



第1294・1295号  
No.30,31  
2026年4月7日



2025-26年度 国際ロータリーのテーマ  
**UNITE FOR GOOD**  
「よいことのために手をとりあおう」  
RI会長 フランチェスコ・アレツォ

2025-26年度 東京恵比寿ロータリークラブのテーマ  
「五感でロータリーを楽しもう」  
**Let's enjoy Rotary with all your senses**  
会長 徳江 陽子

### 4.7 本日のプログラム

イニシエーションスピーチ

高木 慶子 会員 和田 勝美 会員

### 今後のプログラム

- 4月14日 ゲストウェルカムデー 卓話  
「おもしろい読書を愛して」 作家 阿刀田 高さん  
@ ザ テンダーハウス(2F インディゴリオス)
- 4月22日 山の手東グループ合同例会 @ ホテルニューオータニ
- 4月28日 休会
- 5月 5日 休会

### 例会出席者数 3月10日 第1336回例会

ゲスト Guest	ペー ジャインさん(ゲストスピーカー・東京恵比寿RAC 会長) ゴンボスレン アズジャルガルさん (ゲストスピーカー・留学生(RYLA2025参加者))
ビジター Visitor	北崎 隆さん(東京中央RC) 新田 朱さん(東京銀座RC)
出席報告	ゲスト・招待 2名 国内ビジター 2名 出席者数 54名

### 4月に誕生日を迎えられる会員の皆さん

- 4月 4日 井上 翔輝さん 4月 7日 和田 勝美さん
- 4月 5日 尾形 偉幸さん 4月10日 石田 充孝さん
- 4月 6日 野々宮 憲彦さん

### 例会出席者数

3月24日 第1337回例会 観覧会

ゲスト Guest	三四郎さん(サクソ奏者) 内藤 その子さん 玉置 克年さん 玉置 直美さん 千葉 貞郎さん 三田 由美さん 中山 圭子さん 楠野 恭巳さん 青木 加津美さん 大水 綾子さん 村石 裕美さん 中村 知子さん 赤尾 法彦さん 福元 美紀さん 大内 ひろみさん 榎本 博光さん
--------------	--

ビジター Visitor	DAVID UZEさん(東京丸の内RC) 梅田 悦生さん(東京米山ロータリー Eクラブ) 比留間 広明さん(東京渋谷RC) 比留間 峰子さん(東京渋谷RC)
-----------------	---

ロータリーアクトクラブ RAC	ペー ジャインさん(会長) 江口 祐里さん 小松 峻さん 林 怡利さん Travis Tanさん 藤原 実柚さん 四ツ家 裕太郎さん
--------------------	---

奨学生 Student	グエン・ブハ・アインさん(米山記念奨学生)
----------------	-----------------------

出席報告	ゲスト・招待 16名 国内ビジター 4名 RAC 7名 米山記念奨学生 1名 出席者数 62名
------	---

### 新会員ご紹介

氏名 内藤 その子さん  
事業所 公益財団法人  
内藤記念科学振興財団  
住所 〒113-0033  
東京都文京区本郷3-42-6 南江堂ビル8階  
職業分類 福祉事業  
紹介者 榎原 節子さん 徳江 陽子さん  
入会日 2026年 4月7日



卓

話

3.10.  
tue



東京恵比寿RAC 会長

ペー ジャインさん

## 東京恵比寿ローターアクトクラブの活動報告

このたび、東京恵比寿ローターアクトクラブ2025-26年度の活動報告を行う機会をいただきました。今回の報告では、東京恵比寿ローターアクトクラブがどのようなクラブであるか、今年度どのような方針で活動しているか、そして実際にどのような活動を行ってきたかについてご紹介します。

東京恵比寿ローターアクトクラブは、渋谷・恵比寿周辺を中心に東京都23区内で活動しており、例会は月2回程度、主に土曜日・日曜日に実施しています。平日夜ではなく土日中心で活動しているのは、社会人メンバーと学生メンバーの双方が参加しやすい環境をつくるためです。会員数は15名で、男女比は7対8、社会人と学生の比率は12対3となっており、バランスの良い構成となっています。また、外国籍のメンバーも在籍しており、それぞれ異なるバックグラウンドを持つ仲間が集まっているため、例会や活動を通じて多様な視点に触れられることも、当クラブの大きな魅力です。



今年度のクラブターゲットは「DEVELOP」です。この言葉には、単に人数や活動回数を増やすという意味ではなく、メンバー一人ひとりが活動を通じて成長し、その積み重ねがクラブ全体の成長へとつながっていく、という思いを込めています。具体的には、三つの活動方針を掲げています。第一に、メンバーのスキルをdevelop（高める）することです。各メンバーの強みを引き出しながら、例会企画やプロジェクトを通じて継続的に力を伸ばしていくことを目指しています。第二に、社会とのつながりをdevelop（深める）することです。奉仕活動や地域に根ざしたイベントを通じて、社会との結びつきを深め、理解と貢献を高めていくことを重視しています。第三に、ネットワークとチームワークをdevelop（強化）することです。

他のアクトクラブやロータークラブとの連携を強化し、交流を通じてより広い視野と一体感を育むことを目指しています。

今年度も、こうした方針のもとで多様な活動を行ってきました。8月には地区代表訪問があり、今年度の地区方針について学ぶとともに、東京恵比寿ローターアクトクラブとしての目標や活動方針をご説明しました。クラブとして何を大切にしていきたいのかを改めて言葉にする貴重な機会となりました。10月には元オリンピック日本代表の方をお招きした例会を開催し、競技人生における経験や苦勞についてお話を伺いました。また、POLIO Tシャツを着用し、ポリオに関する理解を深める機会ともなりました。同じく10月には東京恵比寿ロータークラブ30周年記念行事にも参加し、ロータークラブの節目をともにお祝いしながら、つながりの深さを実感しました。

11月には、府中・品川・品川中央・昭島・恵比寿・セントラルの6クラブ合同によるEnd Polio例会を実施しました。ローターの重要な取り組みの一つであるEnd Polioについて学ぶとともに、クラブ間の交流を深めることができ、大変意義深い機会となりました。また同月には、トルコのTorosローターアクトクラブの皆様が来日された際、恵比寿エリアをご案内し、恵比寿プルワリーで交流を行いました。言語や文化が異なっても、ローターを通じて大切にしている価値観が通じ合うことを実感し、国際交流の面白さと意義を改めて感じました。12月のロータークラブクリスマス例会では、メンバーによるマジック披露も行い、交流の中に楽しさと温かさを感じられる時間となりました。

さらに、1月には渋谷エリアでのゴミ拾い例会を実施しました。シンプルな活動ではありますが、街を見る視点が変わり、地域とのつながりを実感できる、非常に学びの多い例会となりました。2月にはトルコのローターアクトクラブとオンライン合同例会を開催し、英語で東京恵比寿ローターアクトクラブの活動を紹介するとともに、平和への願いを込めて折り鶴を一緒に折るなど、心の通う交流を行うことができました。3月には渋谷区内唯一のワイナリーを見学し、ワインづくりに関する知識だけでなく、醸造責任者の方のキャリアや挑戦についてもお話を伺いました。単なる見学にとどまらず、「挑戦に年齢は関係ない」ということを考えさせられる、大変印象的な例会となりました。

こうして振り返ると、今年度の活動は、ロータークラブとの連携、地域とのつながり、他クラブや海外クラブとの交流、そして学びの機会が、非常にバランスよく組み込まれていたと感じています。今年度のキーワードである「DEVELOP」は、今年だけで終わるものではなく、次年度以降にもつながっていく考え方です。今後も、メンバー一人ひとりの成長、クラブとしての成長、そしてロータークラブや地域社会とのつながりを大切にしながら、楽しさと温かさを忘れず活動が続けてまいります。引き続き、東京恵比寿ローターアクトクラブへのご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

卓  
話  
3.10.  
tue



留学生 (RYLA2025参加者)  
ゴンボスレン  
アズジャルガルさん

## 技術と教育で社会に貢献する

### — モンゴルから日本へ、AIと学びの挑戦 —

皆さん、こんにちは。ゴンボスレン アズジャルガルと申します。モンゴルから来ました。はじめに東京恵比寿ロータリークラブの皆様、そして本日ここにお集まりの皆様、本日はこのような貴重な機会をいただき、誠にありがとうございます。また、昨年のRYLAプログラムに私をスポンサーしていただきましたこと、心より感謝申し上げます。今日は主に、私の生い立ち、日本に来た経緯、RYLAで学んだこと、そしてこれから学びたいことについて、私の経験や考えをお話しさせていただきます。

まず、私の生い立ちについて。私の父は機械分野を専門とする大学の教授で、母はIT関係の分野で働いています。その影響もあり、私は子どもの頃から技術や教育に関心を持つようになりました。私は少し特別な教育経験をしています。小学校5年生から中学1年生まで日本の学校に通っていました。その後モンゴルに戻り、中学3年生から高校卒業までモンゴルで学びました。このように、日本とモンゴルの両方の教育環境を経験することができました。

高校生の頃から、教育に関わる活動にも取り組むようになりました。高校2年生のときから家庭教師として小学生や中学生に勉強を教え、子どもたちが理解できたときの喜びと一緒に感じる経験をしました。また、教育に関するボランティア活動にも参加し、子どもたちと関わる機会を多く持ちました。高校を卒業した後、文部科学省の試験を受けて奨学金を取得し、日本に再び来る機会を得ました。その後、日本語学校で日本語を学び、現在は日本語学校を卒業するところです。そして今年4月から、仙台高等専門学校で学ぶことが決まっています。新しい環境で専門的な知識や技術を学び、自分の可能性をさらに広げたいと考えています。

さらに、昨年10月にはRYLA (Rotary Youth Leadership Awards) という3日間のリーダーシップ研修プログラムに参加する機会をいただきました。改めて、スポンサーしてくださった東京恵比寿ロータリークラブの皆様感謝申し上げます。

RYLAの1日目は講義が中心で、「リーダーであるためには、まず自分自身を知ることが大切である」ということを学びました。自分の価値観や考え方を理解することが、周りの人と協力するうえで重要であると感じました。2日目にはグループプロジェクトを行いました。参加者同士で協力しながら課題に取り組み、意見を出し合い

ながら一つの結果をまとめました。この活動を通して、協力する力や自分の考えを表現する力の大切さを学びました。3日目にはスピーチを行いました。多くの人の前で自分の考えを伝えることは簡単ではありませんでしたが、とても貴重な経験になりました。この3日間を通して、リーダーシップとは特別な人だけが持つものではなく、自分を理解し、周りの人と協力しながら行動することだと感じました。これからもRYLAで学んだことを大切にし、今後の学びや活動の中で活かしていきたいと思っています。

次に、モンゴルの教育環境と課題について。モンゴルでは多くの人が教育をとっても大切にしています。しかし、いくつかの課題もあります。一つ目は、経済状況による教育機会の差です。家庭の経済状況によって、受けられる教育や学習環境に差が生まれることがあります。二つ目は教員不足の問題です。モンゴルでは教師の給与があまり高くないため、教師という職業を選ぶ人が少なくなっています。その結果、学校では教員不足が起きることがあります。三つ目は、固定された価値観です。教育の中で新しい考え方や多様な価値観を取り入れることが難しい場合もあります。また、都市部と地方の教育環境の差も大きな課題です。そのような背景の中で、日本に来て学ぶ機会を得たことは、私にとってとても貴重な経験でした。日本に来てまず感じたのは、教育環境の充実です。学校の設備や図書館などの学習環境が整っており、学生が学びやすい環境が作られていると感じました。

そして、父は大学で教えているため、教員の仕事の大変さについてよく話してくれます。例えば、授業の準備だけでなく、多くの学生のテストを採点したり、レポートを確認したりするなど、見えないところで多くの時間と労力が必要になります。そうした話を聞く中で、教育の現場には多くの努力があることを知りました。こうした経験を通して、私が特に関心を持つようになったのが、AIと教育の可能性です。AIを活用することで、例えばテストの採点やデータの整理など、教員の負担が大きい作業をサポートすることができます。そうすることで、教員は学生と向き合う時間や、より質の高い教育に集中できるようになると考えています。また、AIを活用することで、学生一人ひとりの理解度に合わせた個別学習も可能になります。特に教育環境に差がある地域では、AIを活用した教育が大きな役割を果たすと考えています。

私はこれから、日本でAIや技術についてさらに学びたいと考えています。そして将来は、日本で学んだ知識や経験を活かして、モンゴルの教育や社会の発展に貢献したいと思っています。AIやデジタル技術を活用し、より多くの人が高質の教育を受けられる社会づくりに関わることが目標です。

最後に私はモンゴルと日本の両方の教育環境を経験する中で、教育の大切さと課題の両方を感じてきました。これからの時代、AIは教育の可能性を広げる重要な技術になると考えています。私自身も日本での学びを大切にしなが成長し、RYLAで学んだリーダーシップの考え方も活かしなが、将来社会に貢献できるよう努力していきたいと思ひます。以上です。ご清聴ありがとうございました。

## 社会奉仕活動報告 広尾中学校 (パラスポーツ体験教室 & 薬物乱用防止教室)

社会奉仕委員会 委員長 川中 清昭さん

### ① パラスポーツ体験

対象：1年生 2クラス 46名

場所：渋谷区立広尾中学校 中体育館

内容：10:55～11:25

根木選手自己紹介 車いすバスケデモンストレーション

11:25～12:40

- ・生徒全員による車いすリレー
- ・代表生徒による5名対5名の車いすバスケのミニゲーム(2試合)
- ・先生+ロータリアンによるミニゲーム

根木先生の軽妙なトークと華麗なパラオリンピックのパフォーマンスに魅了された後、車いすバスケ体験を通してパラスポーツを楽しみました。非日常体験でした。



### ② 薬物乱用防止教室「ダメ。ゼッタイ。」

対象：3年生 37名

場所：渋谷区立広尾中学校 3年生教室

内容：13:35～14:25

- ・古屋パスト会長の講義15分(薬と薬物の違い、最近の薬物乱用の実態と危険性、薬物はなぜなくなるらないか。)スライドショーで解説
- ・ワークショップ20分(各6グループの進行役:ロータリアン、先生)薬物の危険性の講義を受けた後、誘惑に対して「NO」といえるかを生徒さんに売りつける側と断る側を1対1で実演してもらった。生徒さんは真剣に向き合っていた。
- ・締め5分:古屋パスト会長と担当の先生から改めて大切に厳しいご忠告をいただきました。

今回の講義、ワークショップを通して私自身も大変勉強になりました。薬物は、個人の破壊に留まらず、所持しただけで即逮捕・実刑・前科が付くなど安易な気持ちで踏み出せばゼッタイにいけない。割に合わない所業。これから、卒業して高校生になる生徒さんに少しでも薬物乱用の危険性を認識していただけたら本望です。

## フォローアップ委員会

副委員長 藤原 峰之さん

3月9日から10日で友好クラブの奈良大宮ロータークラブに行ってきた。参加者は、徳江会長以下総勢19名で、9日の東大寺のお水取りは、16名の方々に見学してもらいました。奈良大宮ロータークラブの北河原長老と5名の方にアテンドいただき、大変貴重な体験をさせていただきました。10日は、観光組、ゴルフ組に分かれて奈良大宮ロータークラブと交流を深めることが出来ました。観光組には、北河原長老もご参加いただき、参加者は写経や柿の葉寿司作りに奮闘された様です。ゴルフ組は、奈良大宮ロータークラブ高野会長にもご参加いただき、奈良県の名門コースを堪能出来て、スコアはとてかく大変満足いたしました。

例会は、総勢66名(奈良大宮48名、恵比寿18名)が参加されました。徳江会長の卓話とピアノ演奏で、参加者を魅了いただき、高野会長も涙ぐまれ、皆さんもとても感動されていたと思います。非常に充実した2日間を過ごして参りました。



## 3月24日 観桜会 国際文化会館



## 第3回FDMのご報告

フォローアップ委員会 委員長 山田 康さん

令和8年3月12日木曜日、渋谷区南平台のプライベートスペースにて、第3回FDMが、会員13名が参加して行われました。入会3年未満の会員は5名で、橋高バスト会長からロータリークラブの歴史や現状などについて画像や動画を混ぜてレクチャーをして頂きました。当クラブのかつての周年の動画なども観させて頂き、大変勉強になるとともに、和気藹々と温かな雰囲気の会となりました。今回はブラジリアン料理のケータリングとブラジリアンカクテル、シャンパン・ワイン・ウィスキーなどをとても美味しく頂き、無事に会を終えることが出来ました。今回は奈良大宮ツアーと同じ週で、翌日には当クラブのゴルフコンペとスケジュールの混み合う中で、わざわざいろいろご手配頂いた橋高会員をはじめ、ご参加して頂いた皆様、ご協力頂き本当にありがとうございました。引き続き今後ともよろしくお願ひ致します。



## ゴルフ同好会

世話人 黄 舜範さん

3月13日(金)にゴルフ同好会の第3回コンペが「よみうりゴルフ倶楽部」で開催されました。天候は雪の予想もされましたが終始綺麗な曇り空の下で18名5組でプレーしました。優勝は磯部雅代会員、準優勝は花房幸範会員、3位は初参加の佐藤康会員、そして徳江会長の会長賞は古川孝蔵会員がそれぞれ獲得。古川会員はBG(84)もゲット。スコア集計マシンに不具合があったようで、各賞品を獲得した会員からはニコニコ募金をしたい旨の声も聞こえました。次回は5月21日(木)に開催予定です、皆さん奮ってご参加ください。





# ニコニコBOX



## 鏡川 陽介さん

今日は青少年奉仕デーということでアクト会長のインちゃんとライラ参加者のモンゴルのアズちゃんの卓話です。いつも青少年奉仕への応援をありがとうございます。

## 楠野 寿也さん

3月8日徳江会長のピアノリサイタルに行って来ました。とても素晴らしい演奏に感動。3月24日観桜会での演奏もとても楽しみにしています。ニコニコ。

## 榊原 節子さん

今日、12時に発表があり私が面倒をみていた孫娘が東大文一に合格して私はホッとしています。本人はケロツとしていても弁護士試験の講座をとっているそうです。

## 井上 象英さん

5月15～18日のことですが、「易经と東洋医学との互換性」という論文が中国の広州、仏市で開催される易经上層フォーラム世界大会で日本代表として出席してきます。大変名誉なことでニコニコ。

前回まで 1,417,200円

3月10日 4名 合計 28,000円

年度合計 1,445,200円

本日もご協力いただきありがとうございました。

## 榎本 博光様

今年も観桜会に家内の同伴で参加させて頂きました。家内がたいへんお世話になり、有難うございます。

以下、東京恵比寿RCの皆様から頂戴致しました。

## 徳江 陽子さん

内藤その子様、本日桜が咲き始めました「観桜会」でのご入会、誠におめでとうございます。心よりお待ち申し上げておりました。また今日は三四郎さんとの初共演楽しみます。

## 榎本 ミナさん

今日はすてきな六本木の会場で大好きな三四郎さんの演奏がきけてニコニコです。

## 鈴木 宏治さん

ゴルフ同好会よみうりゴルフ倶楽部でスコアーは53-59で18人中8位になりニコニコです。

## 奥田 隆章さん

近所の桜も咲き始めました。今週末が楽しみです。

## 安藤 邦子さん

本日はお天気も良く絶好のお花見になりました。皆様楽しんで下さい。

## 川邊 紀恵さん

今日は徳江会長の演奏を楽しみにしています。

## フォローアップ委員会(FDM)

3/12に今年度3回目のFDMを行いました。橘高パスト会長のご自宅で橘高さんの講師で実りある会が実施出来ました。その時の会費の一部をニコニコします。

## 奈良大宮ロータリークラブ訪問ツアー参加者一同

総勢19名で東大寺お水取り・親睦コンペ・観光、そして例会に参加してまいりました。きめ細かく歓待して頂き、充実したとても楽しい時間を過ごせました。奈良大宮の皆様本当に感謝です。残金の一部をニコニコ致します。

前回まで 1,445,200円

3月24日 9名 合計 54,000円

年度合計 1,499,200円

本日もご協力いただきありがとうございました。

## 事務局より連絡

事務局メールアドレス

代表 office@ebisurc.org

飯澤 (月～金 10:00-17:00) office3@ebisurc.org

松川 (月・火・金 13:00-16:00) office2@ebisurc.org

4月のRILET 1ドル 160円

Rotary  
東京恵比寿ロータリークラブ



事務局 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-20-2-912

TEL 03-5420-6801 FAX 03-5420-6802 URL http://ebisurc.org

会長/徳江 陽子 幹事/横町 俊智 週報委員長/丸山 勝 副委員長/花房 幸範 委員/古川 孝藏  
佐藤 康 妹尾 八郎 南谷 えり子 和田 勝美

例会日:毎週火曜日 12:30～13:30 例会場:ウェスティンホテル東京